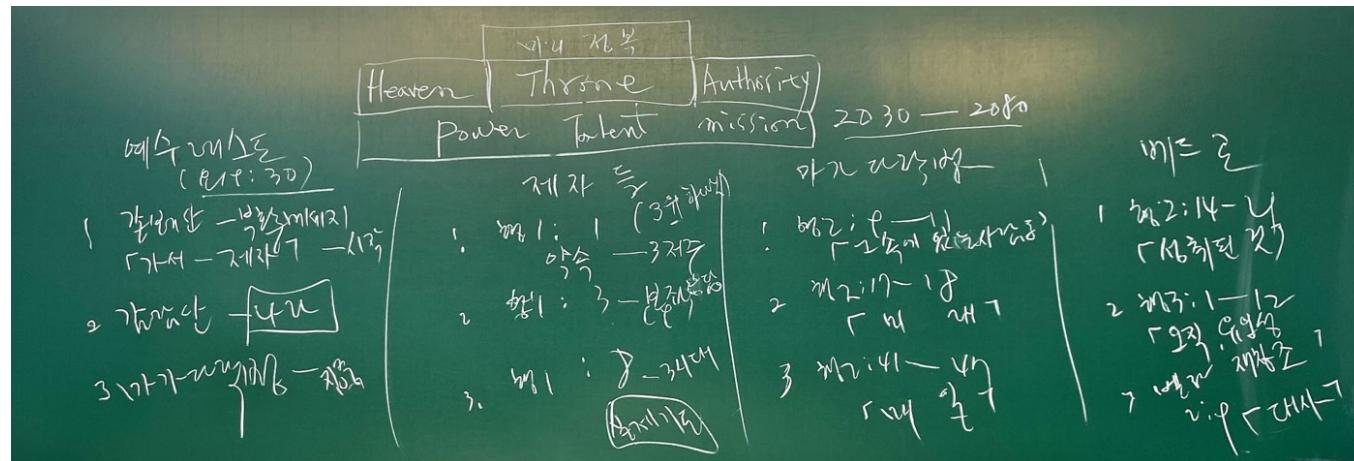


区分 ➤ 核心 / RTday

題目 / 聖書 ➤ 4月學院福音化

講師 柳光洙牧師

日時 / 場所 ➤ 2022年3月26日 / 晋州セウォン教会



'22.3.26 核心RTday

あらかじめ征服

<i>Heaven</i>	<i>Throne</i>	<i>Authority</i>
<i>Power</i>	<i>Talent</i>	<i>Mission</i>

2030-2080

イエス・キリスト
(ヨハ 19:30)

弟子たち

マルコの屋上の間

ペテロ

1. カルバリの丘
- 復活メッセージ
「行って - 弟子」- 始まり
 2. オリーブ山 - 神の国
 3. マルコの屋上の間 - 集中

要約

□序論_あらかじめ征服

来月のレムナントの主題は、答えよりもさらに重要なあらかじめ征服だ。答えは後から来ることだ。私たちが言う靈的な征服は、長い時間を使うのだ。

▷多くのレムナントが、大変でやりたくないときあきらめる。大変

だけれども、一生懸命努力をしていると言う。あるレムナントは、私は上手く行っていると言うレムナントもいる。

あらかじめ征服のレムナントの単語は、それではなく、この三つだ。

Heaven	Throne	Authority
Power	Talent	Mission

Power、Talent、Mission - みなさんは上から与えられる力、タレント、ミッションを見つけるのだ。

▷ 注意すること - レムナントを教える方たちは、私たちのことを教えてはいけない。すべてのレムナントには、力、タラント、ミッションがある。これを分からせる先生が良い先生だ。両親は、両親の考え方で子どもを成功させようとするが、合わないこともある。

2030-2080 このメッセージを聞くレムナントは、この時刻表の主役だ。このときには、多くの事が変わる。

Throne一心配する必要はない。みなさんに与えられるのは別にある。Heavenは未信者にも与えられる。けれども、御座から神様が直接与える力、タラント、ミッショնはレムナントだけに与えられるのだ。

Authority—単純なパワーではなく、上から与えられる力であり、単に与えられたのではなく権威として与えてくださったのだ。これを持っているということは、あらかじめ征服したのだ。

□ 本論

①イエス・キリスト（ヨハ19:30）－あらかじめイエス様が「完了した」すべて征服されたのだ。

1. カルバリの丘 - 復活メッセージ「行って - 弟子」

カルバリの丘 - イエス様がカルバリの丘で、すべての暗やみをすべて打ち砕かれたのだ。

上手くいかないことを避けようとせず、そこから始めなさい。大変にさせる人もいる。受け入れて超えながら始めてこそ、眞の答えを受ける。

復活メッセージ - なぜか。復活されて重要なことを言われた。

「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。」このような方が「世の終わりまで、いつも、

あなたがたとともにいます。」

「行って - 弟子」 - その間に出てくるみことばが「行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。」

そこで、このような部分を始めるのだ。みなさんに一番良くない状況は、既に終わったことなので、始まりとなる。

2. オリーブ山 - 神の国

あらかじめオリーブ山すべて与えてくださった。神の国のことどのように味わうのかをフォーラムしなさい。実際に味わう人にはどのように味わうのか聞いてみなさい。

▷ 神の国について、様々な角度から考えられるようにフォーラムするのだ。完全に刻印させるのだ。

3. マルコの屋上の間 - 集中

私は祈りをどのように集中しているのか。必ず見つけ出さなければならない。見つけたら終わる。

▷ レムナントが何で始めるべきなのか。どんな答えを受けなければならぬのか。この祈りにどのように集中するのか。これを見つけ出すレムナントがいるなら、そのレムナントは必ず世界を動かす。

② 弟子たち

1. 使1:1 約束-3のろい（3位神様）

旧約聖書はキリストを送られると約束された。新約聖書はキリストが来られたという約束成就を記録した。キリストという単語は3つののろいを無くしてしまった単語だ。キリストによって、三位一体の神様の奥義を味わうのだ。

2. 使1:3 御座の答え（9）

このキリストの御名によって御座の答え9つを味わうのだ。

3. 使1:8 3時代

私と現場と教会、過去、現在、未来、このような、ものすごい祝福を味わうことが祈りだ。

▷ これは知っている単語ではなく、実際に味わわなければならぬ単語だ。私たちは説教だけをして、聞いているのであって、実際に個人の答えを与えたり、受けたりするのはしていない。

【実際の祈り】 - 私はどのようにしているのかということだ。レムナントが見つければ終わった。あらかじめ心配しなくても良い。これ自体が征服であるため、残りは持って使えば良い。

祈りは御座を動かすことだ。祈りは私を御座化させることだ。祈りは御座の旅行だ。祈りは前回の靈的旅行だ。ものすごいことだ。

▷ 私は健康を生かす呼吸を続けながら祈る。それが、実際の私の祈りだ。祈りができるほど、ゆっくり長く呼吸をしなさい。お腹で呼吸してこそ、肺が生きられる。お腹が出て、三位一体の神様と3、9、3がすべて臨むぐらいゆっくり吸い込みなければならない。反対に出ていたお腹がへこむまで息を吐かなければならぬ。レムナントは世界を征服しなければならず、頭が先んじなければならないため、必ずすべきだ。

③ マルコの屋上の間 - 弟子たちがこの契約を握ってマルコの屋上の間に集まつたのだ。

1. 使2:9-11 「その中にいる人々」 - 地球ができてから初めて、神様の一番大きな約束が成就したが、その中にいた。今もみことばの成就と祈りの答えと救いの働きは成されている。その中に私がいるのだ。これが祈りだ。

2. 使2:17-18 「未来」 - 未来が正確に見えるなら、あらかじめ征服したのだ。

3. 使2:41-47 「毎日」 - この言葉が分かるなら、3千弟子が起る。また、集中が出てくる。42節に「ただ祈りをしていた」この集中が毎日に変わる。無条件この中にいるなら、神様がすべてご存じでなさるのだ。

すると、いつ、どこで挑戦するのか。人々が絶対に不可能だと見ていること、神様のみこころによって、必ず成されなければならないのに、今、できていないことに挑戦するのだ。

④ ペテロ - 無知な人だったが、博識な人を変えるぐらい答えを受けた。

1. 使2:14-21 「成就されたこと」 - ペテロの説教だ。神様が預言されたみことばが成就されたことを説明した。私たちは神様のみこと

ばが成就されたことを聞くのである。

2. 使3:1-12 「ただ、唯一性、再創造」 - 神殿の美しの門の足のなえた人を立たせるのに、ただその御名によつたが、できたのだ。他のことではできない（ただ）。他のことは答えではない（唯一性）。根本のいやしことなつた（再創造）。

3. 1ペテ2:9 「大使」 「王である祭司、光を宣べ伝える預言者である」これを私たちが、レムナントが任されたのだ。

□ 結論_ 祈りで毎日私を御座化させなさい。

これは24することができる。一番のkeyは、レムナントの時に刻印できるか、できないかである。刻印されるなら、自分の思い通りにはできない。

レムナントの時に、このものすごいカルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の間の契約が刻印されるなら、レムナントの時に3、9、3を味わう祈りが刻印されるなら、レムナントの時にみことばの中で未来を見ることが刻印されるなら、レムナントの時にみことばが成就するその中に行く方法を知つたら、終わったのだ。あらかじめ征服したのだ。レムナントは、これを握つて続けて集中しなさい。ある日、みなさんは知るようになる。

全文打ち出し

[あらかじめ征服]

来月の私たちレムナントの主題は、あらかじめ征服です。答えよりも、もっと重要な、あらかじめ征服。ある面では答えは後に来る事でしょう。あらかじめ征服。

私が昔、朝に時間があったとき、剣道を少ししていました。剣道の高段者がこのような話をしました。「剣道は、竹刀を持って人を打った後に勝つのではない」と言うのです。「では、何ですか」と聞いたら、「勝った後に打つのだ」最初は、よく分かりませんでした。「竹刀で打つて勝つではなく、勝った後に打つ」いま続けてきて「あ。この事だったのか」と理解がきました。実は、すべてのスポーツもまったく同じです。簡単に言うなら、「位置と姿勢を先に握らなければいけない」これです。このようにできないなら誰

であっても負けるのです。短い瞬間にです。私たちが言う、この靈的な征服は長い時間を言っているのです。

では、多くのレムナントはこのように言います。「大変だからやりたくない」このような事をたくさん言います。そして、諦めるようになるのです。また、「大変だけれども、一生懸命努力している」このようによく言います。それは努力をしているのです。また、あるレムナントは「私は上手く行っています」と言うレムナントもいます。あらかじめ征服のレムナントの単語はそれではありません。必ず覚えなければなりません。レムナントの単語は三つです。

[Heaven]

みなさんは上から与えられる力、タラント、ミッションを見つけるのです。

[Power, Talent, Mission]

ここ(Heaven)から出て来る力を言います。ここ(Heaven)から出て来るタラントを言います。ここ(Heaven)から出て来るミッションを言います。実は、レムナントを教える方々が注意すべき事は、私たちのものを教えようとしてはいけません。すべてのレムナントには、これ(Heaven Power, Talent, Mission)があります。これを分からせるのが良い先生です。また、両親が注意すべきことがこれです。いつも両親の考え方を持って、子どもたちをそのように成功させようとするのは良い心ではありますが、合わないことがあります。

2030-2080

特に、今、私のメッセージを聞いている私たちのレムナントは、おもに、みなさんが卒業をして約2030年から約2080年まで働くかなければならない人々です。今、現在メッセージを聞いているレムナントは、この(2030-2080)時刻表の主役です。そのときには、ものすごく変わっているでしょう。それゆえ、今いつも私たちのことを教えようとしてはいけないでしょう。もちろん、学校の勉強やこれらの中のものはすべて基本なのであって、ものすごく、この

(2030-2080)時には多くのことが変わります。

今、私たちの青少年神学院、私たちの地域で一緒にメッセージを聞いています。私たちの青少年は、ある面で、良く見るなら、心配することは1つもありません。なぜなら、みなさんに与えられるることは、また別にあります。

[Throne]

ヘブン、これは未信者にも与えられます。けれども、御座から与えられる祝福はみなさんだけに与えられるのです。ものすごいことです。御座から神様が直接与えられた祝福は、このような力とタラントとミッションは、レムナントのみなさんだけに与えられるのです。必ず覚えなければなりません。

[Authority]

単に与えるのではありません。これ(Authority)を与えたのです。単純なパワーではなく、みなさんが上から与えられる力です。これは、単に与えられたのではなく、権威として与えられたのです。このような単語です。これを持っているのは、あらかじめ征服したのです。残りは答えだけ来れば良いということです。あらかじめ征服をしたのです。そのため、レムナント7人は、これ(Heaven, Throne, Authority-Power, Talent, Mission)を必ず覚えなければなりません。では、すると来月は、これを持ってフォーラムすることになります。

1課 イエス・キリスト(ヨハ19:30)

あらかじめイエス様が「完了した」と言されました。あらかじめ、イエス様が征服をすべてされたのです。これを分かれば良いのです。

1. カルバリの丘-復活メッセージ

イエス様がカルバリの丘で、すべての暗やみを碎かれたのです。そこで言われたことです。「すべて完了した」と。

けれども、「私は始めてもいないのに、どうやってすべて完了されたのですか」と言うこともあります。「私は今、あまり状況が良

くないけれども、どうやってすべて完了されましたか。答えが私にはないのに」このように聞くこともあります。レムナントは、そこから始めてください。完了したので。みなさんが、いちばん、できないことがあるでしょう。そこから始めるべきなのです。みなさんの状況が良くないでしょう。けれども、それを避けようとしないで、そこから始めるのです。また、私を苦しめる人がいますか。それを、避けようとしてはいけません。そこから始めなければなりません。それを受け入れて、超えながら始めてこそ、真の答えを受けます。なぜでしょうか。

ものすごいことを復活させて言わされました。では、このような復活メッセージをフォーラムしてみてください。マタイの福音書28章に出て来るでしょう。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。」このような方が「世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

「行って-弟子」-始まり

その間に出ている言葉が「行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。」そこで、このような部分を始めるのです。みなさんは一番良くない状況が、すでに終わったことのために、始まりになるのです。

特に私が幼いとき、私の目には一番難しいこと、三つがありました。教会に行ったら、伝道はできないのに、いつも争います。私はそこで答えをすべて得ました。そうして、これを避けようとしてはいけません。

また、両親、また、大人の方々を見ると、いつも言っている話は、お金の心配をたくさんしていました。私はそこで答えを得ました。「どうか。みな、あのように生きているのか。みな、貧しく生きている。みな、お金が最高だ」私はそこで、あらかじめ答えを得ました。「私はお金が無くとも、あのように生きない。もし、あってもあのように生きない」そのため、神様が私には、多くの経済の祝福をこのようにくださるのを見ました。

もしも、インマヌエル釜山教会、私がみなさんに出会わずに、私個人的な欲をもって、あそこで伝道運動をしていたら、世界的な教会を建てたことでしょう。けれども、それは失敗です。そのため、私はみなさんと一緒に世界福音化を準備するのです。すべての牧師

方は、自分の教会のためだけにしているということを把握したのです。ならば、始めるのは簡単なのです。そうでしょう。レムナントが答えを得るのは難しくありません。

そして、幼いときに、私がいつも見ていたのは、私の父が、いつも病んでいて亡くなりました。ならば、私がするべきことは何かということです。私は今、全世界の医療人にも健康を講義する人です。レムナントは何を言っているのか分かるでしょうか。

2. オリーブ山- [神の国]

あらかじめ与えたのです。オリーブ山で、あらかじめ与えました。ここでは、一つだけ分かれば良いのです。神の国。世の中の国もあるでしょう。それを話すではありません。参考にするべきですが、サタンの国も参考にしなければなりません。けれども、ここでは「神の国のこと」とあります。これを、みなさんがどのように味わうのかをフォーラムしてみてください。また、実際に味わっている人に、どのように味わうのか一度聞いてみてください。

これは一週間の間に、言葉が一週間であって、集まるのは一日でしょう。また、言葉が一日であって一時間です。一日でもなく、一時間でもありません。そのため、先生方は、伝道師方は、深いフォーラムの中に入りてやるのが良いです。ただ神の国について、様々な角度で考えられるようにフォーラムをするのです。また、どうするのかというと、指導者の方々は、「神の国、どのように味わうのですか」会いに行って、録音もしてみたり。何秒もかからないでしょう。そして、それを聞かせてあげたり。このように完全に刻印させるのです。

3. マルコの屋上の間-集中

そして、最後のことは何ですか。マルコの屋上の間。ここでも、必ず話してこそ成り立つのです。フォーラムしながら見つけてください。「私は祈りにどのように集中しているのか」必ず見つけなければなりません。見つけると終わります。

始まり

「レムナントが何によって始めなければならないのか」（1課1番）

「また、どのような答えを受けなければならないのか」（1課2番）
「この答え、祈りにどのように集中しなければならないのか」（1課3番）

これらを見つけ出すレムナントがいるなら、そのレムナントは必ず世界を動かします。分かるでしょう。「今、できる、できない」そのような心配はしないでください。してみてください。みんなの分野で驚くべき答えが来るでしょう。あらかじめ、イエス様がすべて成されたために、みなさんは、すでに、あらかじめ征服したのです。

2課 弟子たち

では、ここで弟子たちです。この弟子たちは何をしたのかということです。

1. 使1:1 約束-3のろい（3位神様）

2. 使1:3-御座の答え（9）

3. 使1:8-3時代

それが、これ（使1:1、3、8）ではないでしょうか。弟子たちは、これ（使1:1、3、8）三つを握ったのです。なので、来月のことはとても重要です。カルバリの丘（1課1番）、オリーブ山（1課2番）、マルコの屋上の間（1課3番）。キリスト（2課1番）、神の国（2課2番）、ただ聖霊（2課3番）。父なる神様、子なる神様、聖霊、すべて出てきます。では、このような部分をみなさんが完全に味わうフォーラムをしなければなりません。この弟子たちが味わうべき答えです。

約束

キリスト、この言葉はどんな言葉でしょうか。旧約聖書でキリストを送ると約束されました。新約聖書でキリストが来られたという約束成就を記録したのです。

3のろい

すると、キリストという単語は、すでに知っているでしょう。3つののろいを無くしてしまった単語です。

御座の答え（9）

このキリストの御名によって単純に國が成されるのではなく、御

座の答え9つを味わうのです。

（3位神様）

キリストによって三位一体の神様の奥義を味わうのです。このキリストの御名によって神の国のことですが、御座の答え9つを受けるようになります。

3時代

ついに3時代です。私と現場と教会、過去、現在、未来、そういうこと。

このような、ものすごい祝福を味わうのが祈りです。そう、これを実際にフォーラムしてください。これ（2課）は知る単語ではありません。実際に私が味わわなければならない単語です。そのため、必ず参考にしなければならないことは、私たちは今、説教だけをして、聞いているのであって、実際に個人の答えを与えたり受けたりはしないでしょう。けれども、私たちタラッパンでは、牧師方やこのような方々が、説教を、話になる説教をしています。あるものは、見てみると、叫ぶような説教を聞いてみると、叫んだり、そのような事ばかりしています。「あれは一体何をしているのだろう」と思うくらいにです。私は、たまに時間があると、テレビに出てくるキリスト教、仏教番組などがあるでしょう。聞いてみます。救いを抜いてしまっているからであって、僧侶の水準はとても高い水準です。聞いてみると、本当に教会の牧師の説教はとても水準が低いものがあります。参考にしなければなりません。そこに福音もないで完全に虚言です。それは、水準は低いし、福音はない。すると完全に虚言を言っているのです。それは、本当に放送の運営が苦しいのです。なので、いつも「お金がない」という事を言うのです。仏教の放送や次に齋山教で言う内容は「本当に、この人々はすごい。本当に」ただ救いだけがありません。本当に残念です。

[実際の祈り]

そのため、来月はレムナントと先生、教師、教役者を関係なしに、「実際の祈りを、私はどうしているのか」ということです。必ずなければなりません。レムナントの時に見つけ出すなら本当で

す。終わりです。未来を心配しなくても良いです。なぜでしょうか。それ自体が答えであるから。それ自体が征服であるため、残りは持つて使えば良いのです。そうでしょう。

ある面では、これはどんな目が開かれなければならないのかと言ふと、みなさんの祈りは御座を動かすものではないでしょうか。そうでしょう。祈りは私を御座化させるのです。祈りとは何ですか。御座の旅行です。祈りとは何ですか。全世界靈的旅行です。ものすごいことです。

では、これがこれ（1課）は、みことばに対するフォーラムがさらに多くの量を占めていますが、これ（2課）は実際のレムナントの祈り、実際の祈りをどのようにしているのかを考えなければなりません。

私はほとんど、このように、少し他の人より少し敏感な方です。なので、たくさん寝られません。昨日、ここ晋州に来ました、ホテルに来ましたが、ホテルを少しよくない所を取ってしまって、とても暑かったです。調節ができません。なので、当然、寝られません。どれくらい暑かったかと言うと、朝に、扉をすべてこのように開いておくぐらいでした。あまりにも暑くて。なので、私が動いている時や、講壇に座っている時に、瞬間に居眠りしてしまう時が多いです。本来の体質が約2時間・3時間ぐらいしか寝ないために、こう寝られないときにも眠いです。すると、このような時にも、私はいつもしています。祈りながら、このように続けて私の健康を生かす呼吸を続けながら祈るのです。これが、実際の私の祈りです。

そのため、昔、私が言わなかった理由は、これを他の団体でたくさん使っていて、私たちの教会では使っていないために言いませんでしたが、今は科学的に証明されました。公式にこれで2年前にノーベル賞も受けました。そのため、世界で一番良い大学病院のアンダーソン病院（The University of Texas MD Anderson Cancer Center）のような所で、医学的に導入しました。そのため、私がそれから言い始めたのです。気分を害するなら、この言葉で気分を害する人は息をしなければ良いのです。大きな問題になることはありません。息をしないとみなさんは逝きます。

みなさん、息をしています。すると、これは何の息を意味していますか。「今しているよりも、2倍に長くしなさい」ということで

す。分かるでしょう。祈りができるぐらい、ゆっくりしてください。ゆっくりするなら祈れます。祈りを私が深くできるぐらいゆっくりと、長く。結局、私たちが祈ろうとしていることではないでしょうか。このようにするなら、健康も回復され、祈りも回復され、すべて回復されます。

また、参考にすべきことが一つ、みなさん、ここに座っているレムナントや、みなさんは呼吸を肺でしています。酸素と空気が肺に入していくのは合っていますが、肺でしてはいけません。すると、肺を生かすことはできません。お腹でしてくださいという事です。お腹で呼吸してこそ肺が生かされます。そうしようとすると、時間を長く取らなければなりませんね。そうして祈りなさいということです。すると、長くどれくらいゆっくり吸い込まなければならないかと言うと、お腹が出来るくらいに息を吸い込まなければならぬ、ということです。この三位一体の神様と3・9・3がすべて私に臨むくらい、ゆっくりと吸い込まなければなりません。すると、出ていたお腹が反対にすっとへこむぐらに息を吐き出さなければなりません。すると、完全に健康も回復されます。特にレムナントはすべきです。レムナントは世界を征服しなければならぬ、みなさんの頭はとても先んじなければならないので、必ずすべきです。

3課 マルコの屋上の間

では、ついにこれが、来月のことはとても重要です。順序が。イエス様がカルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の間で約束されました。弟子たちがこの契約を握ってマルコの屋上の間に集まつたのです。

1. 使2:9-11 「その中にいる人々」

ここで一番重要なことは聖霊の満たしですが、これ（使2:9-11）が重要です。

2. 使2:17-18 「未来」

その次に重要なのが、2章17節から18節です。

3. 使2:41-47 「毎日」

その次にとても、重要なのが2章41節から47節です。

このような事をテキストも見て、すべて持っていなければなりま

せん。テキストはメモしなさいとあるのです。深いたくさんのフォーラムがなされるべきです。

「その中にいる人々」

これ（使2:9-11）を一言で何と言えば良いのでしょうか。逃げてはならない部分は何でしょうか。地球がでてきてから初めて、神様の一番大きな約束が成就されました。その中にいるということです。その中にいる人々です。これをいつも覚えなければなりません。簡単に言うなら、今もみことばの成就と、祈りの答えと、救いの働きが成されているでしょう。その中に私がいるのです。これで良いでしょう。確実に神様はみことばを成就しておられ、その中に私がいるということです。これを味わうのが祈りです。

「未来」

すると、一番人々ができないこと、難しく考えていること、何でしょうか。未来が見えます。未来が正確に見えるなら、あらかじめ征服したのです。「預言し、幻を見、夢を見る」と言われているでしょう。

そして、ここを見てください。いまは、ついに使徒の働き2章41節47節を見ると、もちろん、3千弟子も起きます。みなさん、この（2課）話が分かってしまうならば、3千弟子が起きます。また、ここ（使2:41-47）を見ると、何が出てきますか。集中が、また出てきます。42節を見ると、「ただ祈りに」この集中がどのように変わるのでしょうか。

「毎日」

毎日に変わってしまいました。そうです。このようになります。すると、私たちのレムナントがどこでも勉強をしながら祈りができます。大変な事が起きても、ただ祈りができます。すると、これからはできるのです。これ以上のことを望むこともありません。必要ありません。「今、答えが来る、来ない」それも言う必要がありません。無条件この（2課）の中にいるのです。すると、簡単に言うなら神様がすべてご存じでなされるのです。とても、重要です。

すると、いつ、どこに挑戦しますか。人々が絶対に不可能だと見る、そこに挑戦するのです。神様のみこころで必ず成されなければ

ならないのに、今できていないなら、そこに挑戦するのです。それで良いでしょう。

4課 ペテロ

ここで、それでも参考にすべきでしょう。ペテロ。この人は知識の無い人でしたが、博識な人を変化させるぐらいに答えを受けました。

1. 使2:14-21 「成就されたこと」

なぜでしょうか。ペテロの説教です。説教する方々、説教を聞く方々が覚えなければなりません。

神様が預言されたみことばが成就されたことを説明しました。これが説教です。神様が預言されたみことばが成就されたということです。それを説教するのです。みんなの聞く説教が何ですか。神様のみことばが成就されるでしょう。それを聞くのです。

2. 使3:1-12 「ただ、唯一性、再創造」

Keyとなることだけを今、話します。使徒の働き3章1節から12節です。これが、今ペテロがする驚くべきことです。神殿の美しの門の前の足のなえた人に伝道する話です。ここにも、ものすごい事が含まれています。神殿の美しの門の前の足なえた人を立てることは、ものすごい、また、意味があるのです。

ただその御名によってすることができるのです。

ここから出て来た単語が何でしょうか。ただです。他のことではできません。唯一性。他のことでは。他のことは答えではありません。再創造。何でしょうか。根本のいやしなくなってしまいます。根源を治してしまうのです。ものすごく重要です。

3. I ペテ2:9 「大使」

このペテロがした説教の中で I ペテロ2章9節があります。ここで、私たちが大使という事実を教えてくださいます。「あなたがたが、まさに王であり、王のような祭司であり、この光を宣べ伝える預言者である」これを私たちが任されたのです。これをレムナントが任されたのです。これです。

すべて重要ですが、来月、私たちのレムナントの学院福音化はとても重要です。これをフォーラムしながら、私のことに対するのですが、ここでの完全結論が何でしょうか。「毎日、私を御座化させなさい」何で。祈りで。これは24できます。その後に一度、見てください。「考えた通りになりますか」と言いますが、そうではありません。必ず考えた通りになります。結局、みなさんが揺れる人生は、揺れることで終わります。どうしようもありません。簡単に言うなら、否定的な事をたくさん言う人がいます。結局、否定的に死にます。どうしようもありません。これが原理です。よく憤ったり、よく怒る人は、憤って病気になって死にます。どうしようもありません。そして、このように多くの人を助ける人々は、助けたり、受けたりしながら生きて死にます。

ならば、一番のkeyは何でしょうか。「レムナントの時の刻印できるか、できないか」がキーです。どれくらい重要でしょうか。刻印、後に、刻印されたことは、自分の思い通りにもできません。

レムナントの時に、このものすごいカルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の間が刻印されてしまった。レムナントの時に3・9・3を味わう祈りが刻印されてしまった。レムナントの時に完全に祈りの中で、みことばの中で、未来を見ることが刻印されてしまった。完全にレムナントの時にみことばが成就するその中に行く方法を知った。これは終わったのです。あらかじめ征服します。とても重要です。

全国、世界の私たちレムナント、これを握って続けて集中してください。反復しているのではありません。集中するのです。そのため、ある日、みなさんが知るようになります。けれども、知らないといって、だめなわけではありませんが、分かるようになる時にはまた違います。お祈りします。

祈り

神様、全国・世界のレムナントを祝福してくださり、感謝いたします。重要なこの契約がレムナントに刻印されますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。